

## 旭日双光章を受章して

奈良県弓道連盟 名誉会長 吉本清信

平成 28 年度秋の叙勲で旭日双光章をいただきました。

去る 11 月 10 日 国立劇場で文部科学大臣より勲記勲章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し、天皇陛下のお言葉をいただいております。

勲章は、国家又は公共に対しての功労ということで、授与されるそうです。今回、私はスポーツの振興に寄与したとして、弓道の活動を評価していただき勲章を頂きました。これも、弓の仲間があってのこと、奈良県弓道連盟の皆さんのおかげです。あらためて、感謝申し上げます。

天皇陛下のお言葉を聞いて、岩手県沢内村や山添村で地域医療をしながら、地元の人々の支えの中で、道場を建てていただいたりして弓道を続けることができたこと、高校時代から、大学、就職後も東北地方で弓を続けられたこと、奈良に戻ってから奈良県弓道連盟の中で選手として役員として弓道を続けられてきたこと、そして全日本弓道連盟でのお仕事もさせていただき、多くの方々の支えの中、弓道を続けられてきたことに、今まで以上に感謝の気持ちを強くしました。

今まで地域の人々から教えられたこと、弓道・武道から学んだことを活かして、残された人生を、引き続き健康長寿文化づくり、スポーツ・弓道の普及振興に努めて行き、有意義に送りたいと思います。この度は、ありがとうございました。



### 吉本清信 先生の紹介

昭和 19 年 2 月奈良県大和郡山市生まれ。奈良高校の弓道部に入部以来、東北大学医学部を卒業するまで学生弓道選手として活躍。東北大学医学部を卒業後も、へき地医療に力を注ぐと同時に岩手県弓道連盟に所属し弓道選手として、また連盟の運営にも積極的に関わり人望を得ておられました。

昭和 59 年 7 月奈良県に帰郷し、山添村国民健康保険東山診療所長兼豊原診療所長に就任するとともに、奈良県弓道連盟においての活動を開始。指導部、強化部、県副会長を歴任され、平成 14 年からは会長に就任、平成 26 年 4 月からは奈良県弓道連盟名誉会長として現在に至るまでご指導いただいております。中学、高校生も含めた講習会の充実を図るとともに、自ら範となり、徹底した「基本の修練」「武道精神の高揚」に力を注がれ、その姿勢に刺激されて、連盟全体の意識も高まりました。近年、中・高・大生の活躍、全日本弓道連盟の中央審査におい

ても、奈良県からの昇級昇段者も増えており、県内各地における弓道普及の礎となっています。

ご自身は全日本男子弓道選手権大会で 2 度の優勝、準優勝 1 回、最高得点賞 8 回と全国屈指の成績を挙げられました。平成 8 年からは全弓連地区指導者講習会講師として、平成 18 年全日本弓道連盟理事に、そして、平成 22 年 6 月から 27 年 6 月までは全日本弓道連盟副会長を務め、公益法人化や様々な規則改正に関与し、日本弓道の健全な発展のためにご尽力いただきました。

先生は、知性、識見に富み、人望厚く何事にも誠心誠意取り組み、自らの背中を見せ後進の指導を行い、奈良県のみならず全国の弓道人の模範になっています。今後ともご健康で、さらにご活躍されますことを祈念いたしますと共に、今後ともご指導賜りたくお願い申し上げます。

(奈良県弓道連盟 事務局)

## 奈良女子弓道大会 団体は天理大が優勝

第34回奈良女子弓道大会が11月23日、奈良市弓道場で開催された。中学、高校、大学、一般の計114名が参加した。大会では「優雅のうちに容姿凛然たること！」をこころがけ、熱戦が繰り広げられました。成績は次の通りです。

### 団体の部

- 1位 天理大 岩下春奈・宮下祐香・井阪美樹
- 2位 奈良支部 揚田よう子・猪原旬子・松村由喜子
- 3位 畝傍高 松居宥実花・後藤みゆ・鎌倉凜

### 個人の部

#### 式段以下の部

- 1位 井坂美樹(天理大) 2位 岩下晴奈(天理大)
- 3位 磯江ほのか(天理大)

#### 参段以上の部

- 1位 揚田よう子(奈良) 2位 白井礼子(県教室)
- 3位 奥戸由美(郡山)



(奈良支部 辰巳 好美)

## 奈良県大学選手権大会

### 団体・個人(男女)ともに天理大学が優勝

第29回奈良県大学選手権大会が平成28年11月27日(日)に橿原公苑弓道場で開催された。結果は次の通りです。

#### 男子団体の部

- 1位 天理大学A 2位 天理大学B
- 3位 天理大学C

#### 女子団体の部

- 1位 天理大学A 2位 奈良女子大学C
- 3位 天理大学B

#### 男子個人の部

- 1位 天理大学 山崎太成
- 2位 天理大学 上野椋平
- 3位 天理大学 谷原俊斗

#### 女子個人の部

- 1位 天理大学 遠近さやか

## 昇格、昇段おめでとうございます

橿原公苑弓道場/特設弓道場で開催された【近畿地区】臨時中央審査会において次の皆さんが昇格、昇段されました。

- 12月4日 六段合格者 白井 礼子(県教室)
- 3日 錬士合格者 佐藤 峻(郡山)

全日本弓道連盟中央道場で12月17日に開催された特別臨時中央審査会において次の方が昇格されました。

- 錬士合格者 村高洋志 (奈良)

橿原公苑弓道場で12月11日に開催された奈良県定期地連審査会において次の皆さんが四段に昇段されました。

- 階戸 尊 (県立医大) 衛藤 克幸 (県立医大)
- 中西 省吾(五條) 榎本 雅子(奈良)(事務局)

- 2位 天理大学 岩下晴奈

- 3位 奈良教育大学 大久保佑香

### 奈良県大学選手権大会を終えて

奈良県大学選手権大会の幹事を務めさせて頂きました。この度は雨の中での大会となりましたが、先生方を初め、たくさんの選手の皆様に参加して頂き、ありがとうございました。至らない点がありましたが、無事に終わることが出来、安心しています。

自分自身が皆の中心になり、まとめていく経験をあまりしたことなく、正直なところ不安でした。しかし、準備の時から竹村先生を初め、先生方に様々なことを教えて頂きました。また他大学の皆さんには、何度もお願いや質問をさせて頂いた際に優しくして頂き、とても嬉しかったです。当日もたくさんの方々からの協力が有り、無事に大会を終えることが出来ました。

もちろん当日の大会で弓道をしている時も楽しかったのですが、それ以上に先生方や他大学の皆さまとの交流をさせて頂いている時が、とても嬉しかったです。人と人との繋がりの大切さを感じることが出来る大会でした。今回たくさんの方に助けて頂いたことへの感謝を忘れずに、これからも人との出会いを大切にしていきたいです。奈良県の弓道をしている大学生が一堂に会することが出来る素敵な大会です。幹事校になると、大変なこともあります。楽しいことの方が多いため、これからもこの大会を続けていってほしいと思います。本当にありがとうございました。

(奈良教育大学弓道部 幾田綾夏)



## 中堅層特別講習会

### 連盟を背負って立つ世代の育成を目指す

第2回中堅層特別講習会が11月20日(日)、橿原公苑弓道場において開催された。特別講師は吉本名誉会長、主任講師は西中会長、講師は阪中理事長です。今回は21名(うち男性9名・女性12名)の受講生による持的射礼の研修が行われた。

開講式、一つの射礼(吉本名誉会長・西中会長・阪中理事長)、持的射礼(指導部員)に続き、射礼の心構えについて西中会長からお話があった。心構えについては、「調和の美を表現するためには周囲への心遣いが大切であり、息合い・間合いを含めた基本動作の注意点8項目を体現できるように、時間を見つけては複数人で稽古を積むことが必要」との内容だった。その後、受講生による持的射礼の研修が行われ、本座の5人(4人)が横一線に揃わないことや、弓倒し・物見返しの呼吸が早すぎて後ろの射手への配慮が欠けるなど、「射礼の心構え」を体現するために必要な修正点について、講師の先生方から細部に亘る指導があった。



西中会長の射礼の心構えについての講話を聴く受講生

昼食後には吉本先生より講話があった。審査における入場時の執弓の姿勢はもちろん、気構えが目つき・顔つきに現れるから大切であること、うまくいっても失敗しても堂々と最後まで精一杯やり通すといった「心気のはたらき」や、周囲への心遣い・思いやりの大切さについてのお話があった。また親鸞聖人が詠まれた「明日ありと思う心の仇桜、夜半に風の吹かぬものかは」の和歌について触れられ、明日ではなく今日、いまから取り組むことの大切さについても説かれた。

閉講式においては、西中会長から中堅層特別講習会開講の意味(中堅層の会員の射技・体配の向上及び指導者としての心構えや資質の向上を図ること)に加え、10年先の将来、連盟を背負って立つ世代が正しい射技・体配を学び、実力をつけてもらえるように頑張りたいとの激励もあった。

第3回の講習会に向け、少しでも正しい射技・体配が習得できるように、各支部の仲間や弓友との稽古の時間を大切にしながら頑張りましょう。

(指導部 大西洋亮)

## 奈良県中学校弓道新人大会

### 団体は天理南A(男子)、橿原A(女子)が優勝

第42回奈良県中学校弓道新人大会が11月12日(土)に橿原公苑弓道場で、奈良県中学校体育連盟主催で開催された。総合の部は各人近的8射・遠的8射 合計16射で、1年生の部は各人近的8射で競われた。新チームになって、初めての県大会で雲一つない、良い天気のもと大会は実施された。参加人数は男子48名、女子91名でした。

結果は次の通りです。

#### 個人戦

##### 男子

優勝 松岡 賢(天理南)  
2位 森口 泰成(天理南)  
3位 田上 柊悟(香芝)

##### 女子

優勝 池田 梨瑠(香芝)  
2位 廣田 愛(香芝)  
3位 平松 美久(橿原)

#### 団体戦 男子

優勝 天理南A(松岡 森口 喜多)  
2位 香芝A(田原 田上 野村)  
3位 橿原A(幸田 伊東 村岡)



後列左から2位香芝A 3位橿原A 前列1位天理南A

#### 団体戦 女子

優勝 橿原A(三浦 今西 植村)  
2位 橿原B(大枝 高田 平松)  
3位 香芝B(廣田 前原 香川)



後列左から2位橿原B 3位香芝B 前列1位橿原A

## 1年生個人の部 男子

優勝 丹原 大和（大成） 2位 鈴木 俊亮（天理南）  
3位 小田 聖也（白檀）

## 1年生個人の部 女子

優勝 種村 百々乃（香芝） 2位 森田 菜月（檀原）  
3位 沼田 優美香（大成）



後列左から1年女子3位2位1位1年男子3位2位1位  
前列左から2年女子3位2位1位2年男子3位2位1位  
(中体連 中前芳一)

## 奈良県定期地連審査 級位26名、初段35名、弐段5名、参段3名、 四段4名が合格

12月11日に檀原公苑弓道場において第266回定期地連審査が開催されました。

### [審査結果]

級位	申請者	30名	欠席	2名	合格者	26名				
					(1級	25名	2級	1名	現級	2名)
初段	申請者	45名			合格者	35名				
弐段	申請者	6名			合格者	5名				
参段	申請者	14名			合格者	3名				
四段	申請者	22名	欠席	3名	合格者	4名				

(審査部 平木一史)

## 奈良県が主管で

### 近畿地区臨時中央審査会を開催

12月3日（土）、4日（日）奈良県が主管となり檀原公苑第一体育館特設道場、檀原公苑弓道場を会場にして中央審査会が開催されました。3日には錬士の審査が、4日には七段・六段の審査が実施されました。合格者は錬士の部 345名の受審者の内10名、六段は187名の内13名、七段は74名の内1名が合格されました。

準備も含め三日間、連盟員の皆さんには早朝から日没後も審査役員として審査会を支えていただき、無事に終わることができました。ご協力に感謝し、今後も連盟運営に積極的に参加いただきますようお願いいたします。  
(事務局)

## 編 | 集 | 後 | 記

中堅層講習会で吉本先生が「明日ありと思う心の仇桜、夜半に嵐の吹かぬものかは」という親鸞聖人の和歌を紹介されました。

「親鸞聖人が9歳の時、仏門に入られる決心をされ天台座主である慈円を訪ねましたが、すでに夜だったので、『明日の朝になったら得度の式をしてあげましょう』と言われました。しかし、聖人は『明日まで待てません』とおっしゃられ、その時詠まれたのがこの歌と伝わっています。この歌の意味は、『今美しく咲いている桜を、明日も見ることができたらと安心して、夜半に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない』ということですが、親鸞聖人は、自分の命を桜の花に喩え、『明日自分の命があるかどうか分からない、だからこそ今を精一杯大事に生きていきたい』との思いが込められています」（光華女子学園HPから引用）

古希を迎えても、日常生活に追われて、ただ漫然と日々を生活している私には特に心に響きました。

編集担当 野尻賢司